

### Ⅲ 教育部会報告（部会長 渡邊俊輔）

#### 1. 大淀川環境保全クラブ育成事業を実施しました

大淀川の保全活動をととして、自然環境や生態系の維持を図るための学習を行う。併せて、クラブ生徒が身近な些細なことでも環境保全が率先して行える人物、また、将来的には環境保全活動の指導者的な人物へと成長していくことを目的として、6回実施しました。

##### 【第1回】大淀川の生き物保全ワークショップ

開催日：令和2年8月23日（日）

出席者：15名

場 所：子ども（市民プラザ4階ギャラリー）・保護者（宮崎市役所会議棟）

内 容：開校式を行って説明をした後、天満橋下の大淀川河川敷へ保護者と一緒に移動して水辺を観察し、いろいろな生き物が住む環境についてみんなで考えました。



##### 【第2回】五感による水辺環境調査

実施日：令和2年9月20日（日）

出席者：23名

内 容：大淀川学習館で大淀川の水と生き物について学び、水辺を観察して、大淀川を生き物が住みやすい環境についてみんなで考えました。



##### 【第3回】小魚の生息地の拡大と稚魚の放流

開催日：令和2年10月18日（日）

出席者：23名

内 容：小魚の生息範囲を広げる方法を考えて、小川で実行し、稚魚を放流しました。



**【第4回】 絶滅危惧植物タコノアシの生育地の拡大とカヌーで水辺観察**

開催日：令和2年11月15日（日）

出席者：21名

内 容：タコノアシの生育範囲を広げる方法を考えて砂州で実行し、カヌーで水辺を観察しました。



**【第5回】 成果のまとめ**

開催日：令和2年12月20日（日）

出席者：22名

内 容：小魚やタコノアシの生息・生育状況を観察してみんなで成果を確認しました。  
また、芝滑りを楽しんだ。



**【第6回】 成果の発表**

開催日：令和3年2月28日（日）

出席者：22名

場 所：宮崎市民プラザ4階ギャラリー

内 容：実行してきた成果について、みんなで発表しました。

※当初計画では、全員が集って発表をする予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、  
班毎に時間をずらして集合して発表しました。



終了後には、大淀川環境保全クラブの修了式を実施しました。

昨年度から継続して、大淀川の保全活動をととして自然環境や生態系の維持を図るための指導を行った。併せて、クラブ生徒が身近な些細なことでも環境保全が率先して行える人物、また、将来的には環境保全活動の指導的な人物へと成長していくことを目的として、8月から毎月1回、大淀川の自然環境についての学習を行い、いろいろな生き物が暮らせる水辺の環境づくりについて自らどんなことができるかを考えさせて、大淀川の水辺をフィールドとして実践させた。宮崎市内の各小学校へチラシを配布したところ、定員20名に対して48名の申し

込みが有り、抽選で小学4年生～6年生の25名（昨年度からの継続者3名含む）を選定した。子ども達は最後まで真剣に取り組むことができた。アンケート結果より、全てのプログラムにおいての難易度はちょうど良いとの回答が約70%以上であり、また、満足度も100%だった。保護者のアンケート回答から、自主的に応募してきた子どもが多く、毎回の活動を楽しみにして、回を重ねる毎に環境問題について身近な問題であることに気づき、活動を通して成長していることを感じた。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受付時の検温や手指の消毒・マスク着用等を徹底して、感染拡大防止に努めた。その中でも、第6回の成果発表では、1月初めに宮崎市内で感染が拡大したため、幾度も計画変更をすることとなった。成果発表の実施予定日が第5回の成果のまとめから期間が空いたため、上手く発表できるか心配したが、子ども達は素晴らしい成果発表をした。些細なことでも環境保全が率先して行える人物、また、将来的には環境保全活動の指導的な人物へと成長していくことを目的が達成できた。2年間継続して参加している錦織慧樹さんが、宮日こども新聞の記者をしている。その錦織さんが大淀川環境保全クラブについて取材して、記事が宮日こども新聞に掲載された。それを見た他の地区の子ども読者から窓欄に「地元の川を守りたい」との投稿があった。このことから、クラブ員以外の子ども達にも環境保全の関心度を高める活動であることが確認できた。以上のことから、大淀川環境保全クラブ育成事業を次年度以降も継続して実施していく。

## 2. タコノアシのお引越し 第1弾 を実施しました

大淀川では、河川整備計画の改修で天満橋下付近の砂州が掘削される予定であることがわかり、掘削される場所のタコノアシのお引越し（移植）を実施しました。

開催日時：令和2年7月23日（木・祝）13時30分～15時

活動場所：天満橋下 大淀川

参加者：宮崎総合学院、フィオーレ KOGA 看護専門学校、宮崎南高校、宮崎大学、国土交通省宮崎河川国道事務所、パシフィックコンサルタンツ㈱、大淀川流域ネットワーク 計160名



## 3. 宮崎市環境学習パートナー事業を担当しました

宮崎市環境保全課から、環境学習パートナー事業の依頼があり、水の不思議体験を実施しました。

水を使った実験を通して、水の力・表面張力等・水が持つ不思議さを学んだあと、ペットボトル噴水を作りました。

実施日：令和2年7月27日（月）10時～11時

参加者：古城小学校児童クラブ 19名



#### 4. 津谷原沼堤防の施設見学とコアマモの観察・移植 実施しました

国土交通省が津屋原沼において進めてきた、津波・高潮対策事業も完成間近となりました。今回、堤防施設に関する見学と、昨年度に引き続き、将来的に水路を利用する生物が生きていくために、地域住民とともに環境保全措置としてコアマモを新しい水路に移植しました。

実施日：令和2年8月22日（土）

参加者：地域住民 子ども5名 大人7名

協力：宮崎内水面漁業協同組合

スタッフ：宮崎河川国道事務所、パシフィックコンサルタンツ(株)、大淀川流域ネットワーク 計18名



#### 5. タコノアシ保全活動 第2弾 を実施しました

タコノアシを保全するために、柳の木を刈り取る作業を行いました。あいにくの雨天でしたが、宮崎河川国道事務所や小戸神社青年会の皆様にご協力をいただき、大きな柳の木を伐採することができました。

実施日：令和3年2月13日（日）

場所：天満橋下 大淀川河川敷

